

2019年12月18日 全7頁

## Indicators Update

## 2019年11月貿易統計

アジア向けの輸出数量は回復するも、米国、EU向けが押し下げる

経済調査部

エコノミスト 鈴木 雄大郎

シニアエコノミスト 小林 俊介

## [要約]

- 11月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲7.9%と12ヶ月連続で減少したものの、コンセンサス(同▲9.0%)を上回った。季節調整値で見ると、輸出金額は前月比▲0.3%と2ヶ月連続で減少した。輸出金額は数量の減少を主因として、18年半ばをピークに減少傾向が続いている。
- 11月の輸出数量(大和総研による季節調整値)は前月比▲2.9%と2ヶ月ぶりに減少した。輸出数量は振れを伴いながらも緩やかな減少基調にある。地域別に見ると、アジア向け(同+2.0%)は増加したものの、米国向け(同▲6.1%)、EU向け(同▲1.1%)が減少した。
- 先行きの輸出数量は、地域ごとに濃淡はあるものの、総じてみると世界経済減速の影響を受けて低水準での推移が続くとみている。アジア向け輸出の底入れが期待される一方、米国、EU向けの資本財関連輸出は調整局面が続くだろう。

図表1：貿易統計の概況

		2019年									
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
原系列 前年比 %	輸出金額	▲2.4	▲2.4	▲7.8	▲6.6	▲1.5	▲8.2	▲5.2	▲9.2	▲7.9	
	コンセンサス									▲9.0	
	DIRエコノミスト予想									▲10.1	
	輸入金額	1.2	6.5	▲1.4	▲5.2	▲1.1	▲11.9	▲1.5	▲14.8	▲15.7	
	輸出数量	▲5.6	▲4.3	▲8.9	▲5.5	1.6	▲6.0	▲2.3	▲4.4	▲5.0	
	価格	3.4	2.0	1.2	▲1.2	▲3.1	▲2.4	▲2.9	▲5.0	▲3.1	
季節 調整値 前月比 %	輸入数量	0.4	4.1	▲1.2	▲3.2	6.7	▲6.1	6.8	▲6.1	▲8.1	
	価格	0.8	2.3	▲0.2	▲2.0	▲7.3	▲6.2	▲7.7	▲9.2	▲8.2	
	貿易収支(億円)	5,227	535	▲9,702	5,875	▲2,523	▲1,457	▲1,283	157	▲821	
	輸出金額	▲1.2	0.1	▲5.2	5.0	▲0.4	▲2.8	1.3	▲1.8	▲0.3	
	数量	▲1.9	2.6	▲7.7	5.8	1.5	▲4.5	▲0.5	1.8	▲2.9	
	価格	0.7	▲2.4	2.7	▲0.8	▲1.8	1.7	1.8	▲3.5	2.6	
季節 調整値 前月比 %	輸入金額	2.2	▲0.4	0.2	▲3.1	1.8	▲3.2	0.5	▲1.8	▲0.1	
	数量	1.4	1.9	3.1	▲6.9	7.8	▲5.3	2.1	▲2.0	▲3.6	
	価格	0.8	▲2.2	▲2.8	4.0	▲5.6	2.2	▲1.6	0.2	3.6	
	貿易収支(億円)	▲1,931	▲1,612	▲5,151	62	▲1,347	▲1,012	▲514	▲482	▲608	
	税関長公示レート	111.16	111.18	111.07	109.05	108.00	107.21	106.69	107.77	108.76	

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

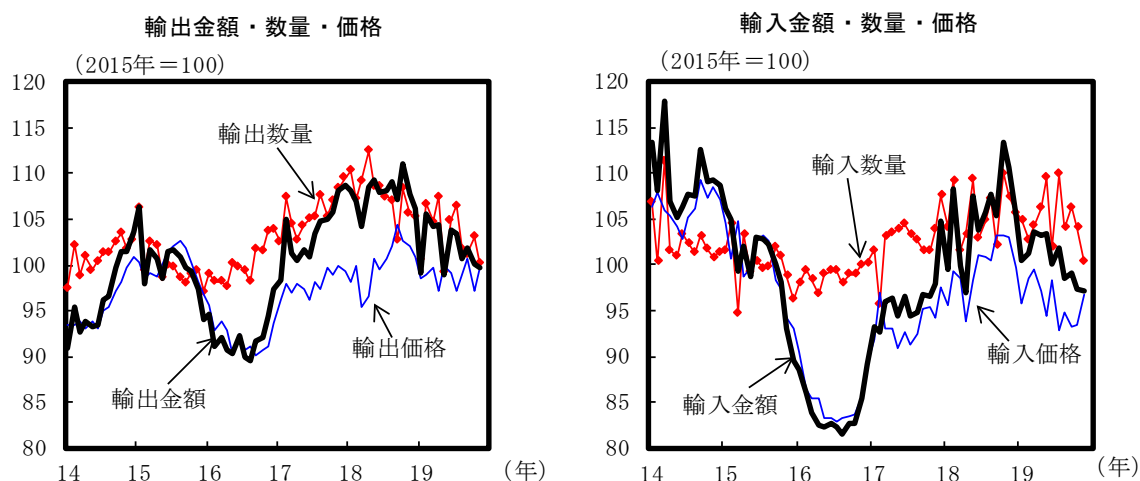
(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

### 【輸出金額】12ヶ月連続で減少もコンセンサスは上回る

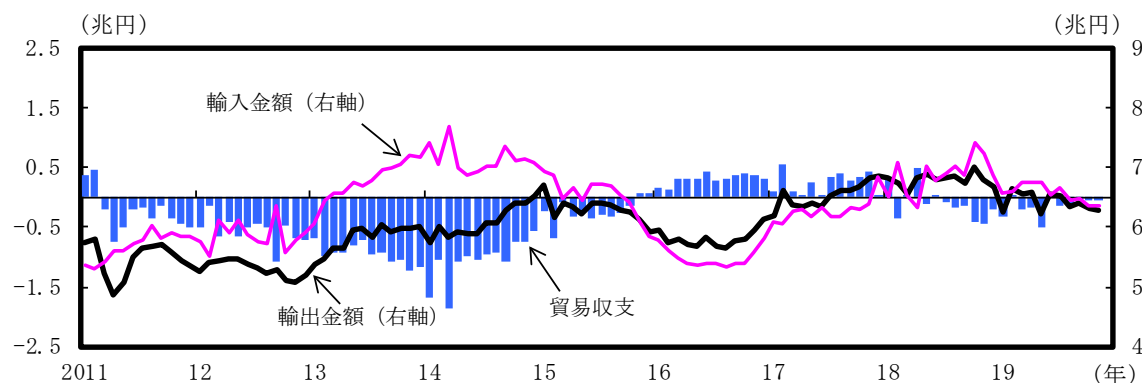
11月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲7.9%と12ヶ月連続で減少したものの、コンセンサス（同▲9.0%）を上回った。季節調整値で見ると、輸出金額は前月比▲0.3%と2ヶ月連続で減少した（図表2左）。輸出金額は数量の減少を主因として、18年半ばをピークに減少傾向が続いている。

図表2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

図表3：輸出金額、輸入金額、貿易収支（季節調整値）



(出所) 財務省統計より大和総研作成

### 【輸出数量】アジア向けは回復するも、米国、EU向けが全体を押し下げる

11月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲2.9%と2ヶ月ぶりに減少した。輸出数量は振れを伴いながらも緩やかな減少基調にある。地域別に見ると、アジア向け（同+2.0%）は増加したものの、米国向け（同▲6.1%）、EU向け（同▲1.1%）が減少した。アジア向けはこれまで軟調な推移が続いていたが、一物品目で下げ止まりの兆しが見られる。一方、これまで全体を下支えしていたEU向けや米国向けの輸出数量は資本財を中心に減少基調に転じている。

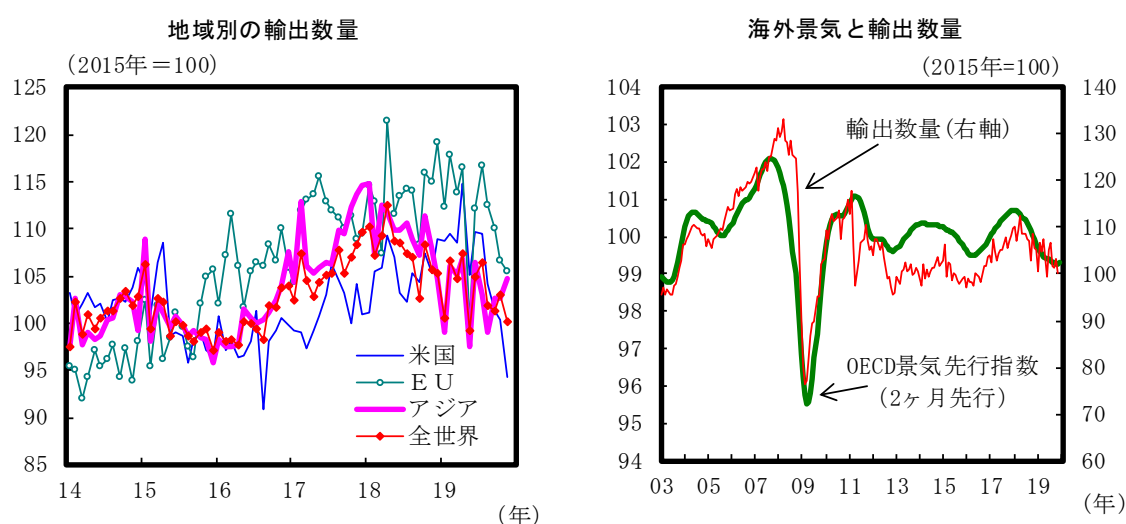
アジア向け輸出を概況品別に見ると、乗用車が増加した他、半導体等電子部品なども全体を

押し上げた。半導体等電子部品の輸出は2018年初から軟調な推移が続いていたが、足下では下げ止まり、緩やかな回復に転じている。回復の要因としては、2020年に5G（第5世代移動通信システム）を利用した各種製品の実装・販売が見込まれていることに加え、過去2年間近く続いた生産調整を経て、グローバルな在庫水準が既に低下していることが挙げられるだろう。

米国向けは2019年4月をピークに減少基調に転じている。11月の動きを見ると、鉄鋼や自動車の部分品などが減少に寄与した。他にも原動機や非鉄金属など幅広い品目がマイナスに寄与している。

EU向けは4ヶ月連続で減少した。2018年半ばから19年前半まで全体を下支えしていたが、2019年7月にピークアウトしている。単月の動きを見ると、鉄鋼や電算機類が大幅に増加したものの、原動機などが全体を押し下げた。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

### 【輸入金額】 駆け込み需要の反動減によって落ち込む

輸入金額も前月比▲0.1%と2ヶ月連続で減少した。輸入金額の内訳を見ると、とりわけ輸入数量（大和総研による季節調整値）が同▲3.6%と2ヶ月連続で減少した。輸入数量の落ち込みは消費増税後の内需の弱さが背景にあるとみられる。

輸入金額を品目別に見ると、電算機類（含周辺機器）や原動機、通信機などの落ち込みが目立つ。電気機器は、消費増税前に駆け込み需要が生じており、その反動減によって輸入も落ち込んでいるとみられる。

## 【見通し】輸出数量は弱い動きから下げ止まりへ

先行きの輸出数量は、地域ごとに濃淡はあるものの、総じてみると世界経済減速の影響を受けて低水準での推移が続くとみている。アジア向けの輸出はこれまでの減少基調から下げ止まりの兆しが見え始めている。一方で悪材料として、米国、EU など先進国向けの資本財関連輸出はこれから調整局面が続くだろう。

地域別に細かく見ると、アジア向けは低水準の推移が続くものの、これまでの減少基調から下げ止まるとみている。アジアへの輸出は相対的に半導体等電子部品のウエイトが大きい。足下では世界の半導体販売額が底入れしており、それに伴いアジア向けの半導体等電子部品輸出も増加傾向にある。グローバルな在庫調整が一巡していることから、今後も全体を下支えする要因となろう。

EU 向けにおいては自動車輸出が全体を下支えするとみられるが、全体では減少基調が続くだろう。自動車に関しては、環境規制対応のための輸出が今後も期待される。他方、ドイツや英国は 2018 年半ばごろから景気減速が鮮明となっている。ユーロ圏、英国ともに 7-9 月期の GDP 成長率は前期比で僅かなプラスになったものの、低空飛行が続いている。自動車以外の品目に関しては、弱い動きが続くとみられる。

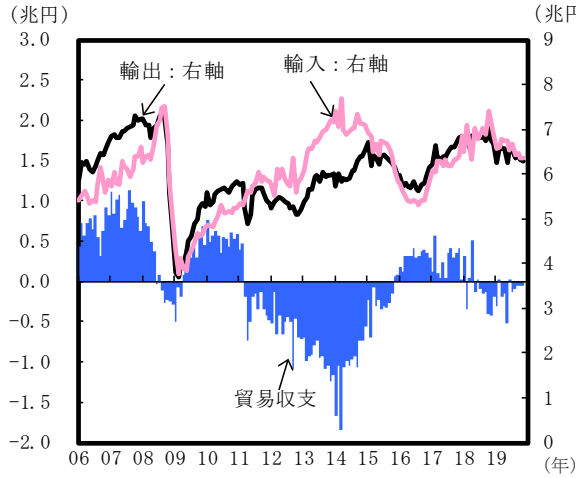
米国向けは横ばい圏で推移するだろう。2018 年の米国経済は減税効果によって加速していたが、その影響は既に剥落し始めている。一方で個人消費は堅調であり、加えて FRB が金融緩和を実施したことで、減速は緩やかなものにとどまるとみている。

米中摩擦に関して、15 日に予定されていた 1,600 億ドル相当の対中輸入品（いわゆる第 4 弾リスト B）に追加関税の発動が見送られた。リスト B にはスマートフォンやノートパソコンなど中国以外で代替生産が難しい品目が多く含まれており、今回の発動が見送られたことは好材料だろう。また、第 4 弾リスト A の関税率が引き下げられたことも米国消費にとってはプラス材料となり、米国向け輸出にも追い風となろう。

とはいえ、依然米中間では不透明感の残る状況には変わらない。米国が追加関税の発動の見送りや引き下げを行う代わりに、中国は金融市場の開放や産業補助金などの構造改革を求められている。こうした構造改革が思うように進まなければ、交渉は再び白紙に戻る可能性もある。引き続き米中の動向には注視していく必要がある。

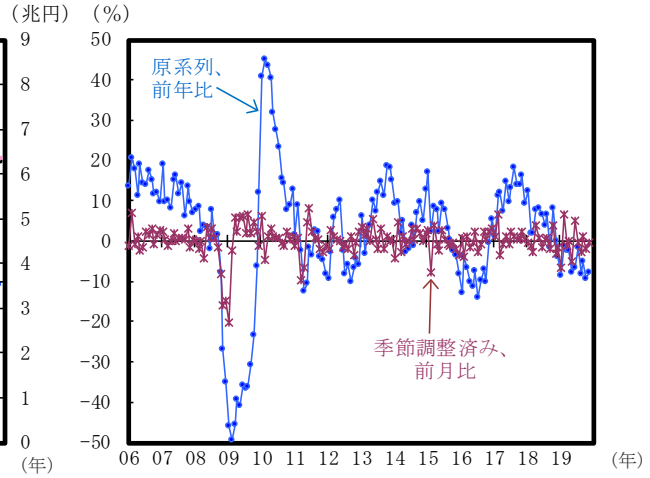
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

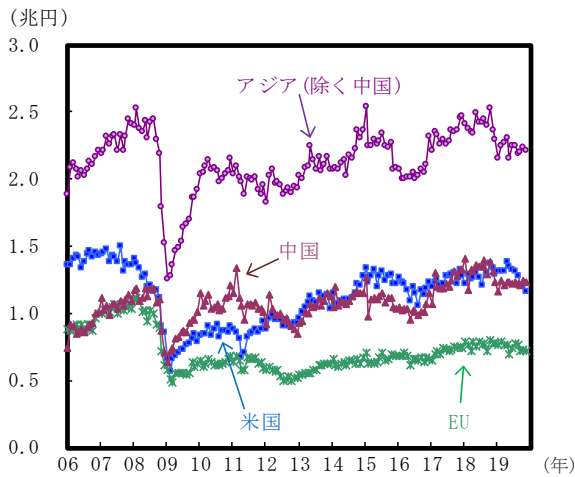


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

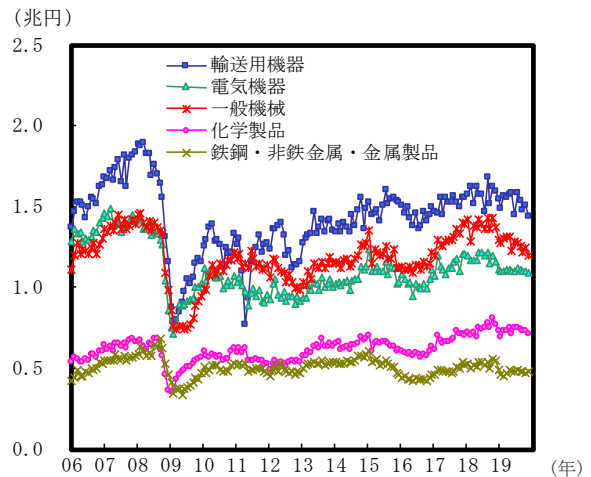


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

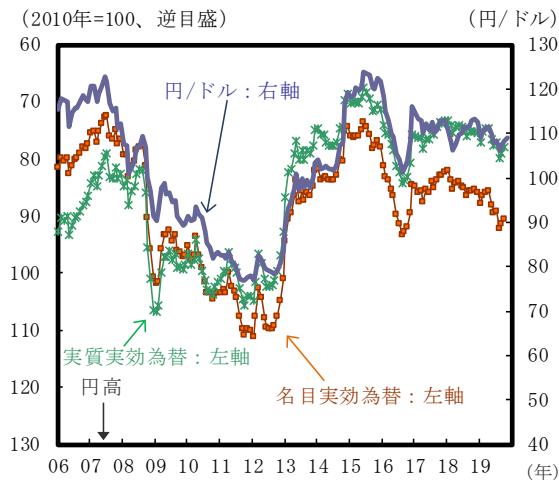


(注) 季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

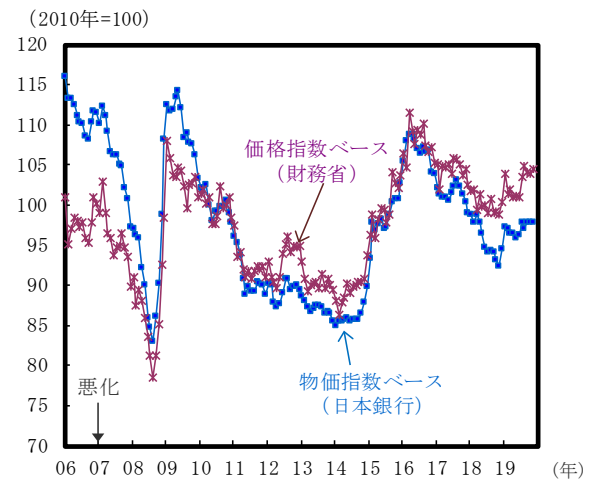


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。  
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2019/06	2019/07	2019/08	2019/09	2019/10	2019/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲6.6	▲1.5	▲8.2	▲5.2	▲9.2	▲7.9	100.0	▲7.9
食料品	7.9	4.9	▲3.5	▲5.3	▲5.1	1.2	1.1	0.0
原料品	▲11.7	▲13.5	▲12.2	▲11.0	▲16.6	▲15.6	1.3	▲0.2
鉱物性燃料	7.1	0.2	▲6.2	▲16.9	14.1	10.1	1.7	0.1
化学製品	1.5	▲0.1	▲5.1	▲2.1	▲9.7	▲7.4	11.2	▲0.8
原料別製品	▲8.6	▲5.1	▲11.0	▲3.8	▲13.3	▲11.1	10.8	▲1.2
鉄鋼	▲11.6	▲4.1	▲13.6	▲0.4	▲16.7	▲18.2	3.8	▲0.8
非鉄金属	▲11.7	▲10.7	▲10.0	▲2.7	▲10.7	▲0.3	1.9	▲0.0
金属製品	▲8.3	▲6.4	▲8.5	▲9.0	▲13.7	▲7.9	1.6	▲0.1
一般機械	▲8.0	▲7.2	▲12.3	▲11.2	▲12.9	▲12.0	18.5	▲2.3
電気機器	▲9.2	▲7.3	▲8.1	▲4.7	▲8.3	▲5.4	17.8	▲0.9
半導体等電子部品	▲7.9	▲7.8	▲2.7	4.0	0.6	▲0.3	5.6	▲0.0
I C	▲8.0	▲7.1	▲0.5	9.1	3.6	▲1.3	4.0	▲0.0
映像機器	▲24.5	▲5.6	▲5.3	▲11.9	▲9.8			
映像記録・再生機器	▲32.8	▲12.1	▲8.2	▲14.8	▲8.8	▲12.6	0.5	▲0.1
音響・映像機器の部分品	36.0	▲12.7	▲10.5	▲15.1	▲19.3	▲13.8	0.3	▲0.0
電気回路等の機器	▲11.9	▲9.0	▲14.5	▲12.7	▲13.6	▲11.7	2.5	▲0.3
輸送用機器	▲7.6	7.7	▲8.2	▲2.7	▲7.4	▲9.7	23.5	▲2.3
自動車	▲0.7	9.2	▲7.2	▲1.9	▲9.6	▲7.0	16.1	▲1.1
自動車の部分品	▲14.1	▲10.7	▲13.6	▲14.7	▲11.3	▲8.8	4.7	▲0.4
その他	▲5.9	2.0	▲2.0	▲2.3	▲6.3	▲1.2	14.1	▲0.2
科学光学機器	▲5.9	▲8.0	▲7.4	▲10.9	▲10.9	▲4.2	3.0	▲0.1

米国向け輸出金額 内訳								
	2019/06	2019/07	2019/08	2019/09	2019/10	2019/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	4.9	8.4	▲4.4	▲7.9	▲11.4	▲12.9	100.0	▲12.9
食料品	10.1	11.8	▲5.3	0.9	4.9	▲4.7	0.7	▲0.0
原料品	4.7	16.1	▲22.7	28.4	▲8.8	34.1	0.7	0.2
鉱物性燃料	▲41.1	40.2	9.6	157.2	1397.4	▲21.1	0.2	▲0.1
化学製品	17.7	▲1.2	4.9	0.2	▲5.3	4.2	7.1	0.3
原料別製品	▲3.9	1.8	▲7.1	▲2.0	▲8.7	▲2.9	6.5	▲0.2
鉄鋼	▲18.6	12.3	▲2.9	13.3	▲19.7	▲23.2	1.0	▲0.3
非鉄金属	8.9	3.7	▲2.8	21.0	▲5.9	9.8	0.7	0.1
金属製品	2.8	▲5.5	▲7.9	▲11.8	▲3.9	13.1	1.8	0.2
一般機械	16.1	16.3	1.3	▲5.9	▲4.8	▲14.1	22.4	▲3.2
電気機器	▲5.8	▲1.2	▲8.8	▲7.7	▲15.9	▲10.1	12.9	▲1.3
半導体等電子部品	▲7.2	▲15.4	▲12.6	▲11.1	▲11.7	▲17.5	1.2	▲0.2
I C	▲9.1	▲14.2	▲15.1	▲16.5	▲10.9	▲18.3	0.6	▲0.1
映像機器	▲24.5	16.8	13.6	▲7.9	▲4.9			
映像記録・再生機器	▲37.5	7.7	7.5	▲11.6	▲9.7	10.0	0.8	0.1
音響・映像機器の部分品	349.1	▲15.3	55.1	▲7.5	▲26.1	▲16.5	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	▲0.0	5.3	▲3.5	▲10.2	▲13.1	▲14.2	1.4	▲0.2
輸送用機器	1.3	2.6	▲11.7	▲14.8	▲17.1	▲16.9	38.8	▲6.9
自動車	4.3	1.5	▲13.0	▲15.7	▲17.7	▲17.1	30.3	▲5.4
自動車の部分品	▲9.2	1.1	▲11.9	▲16.2	▲12.9	▲18.9	5.2	▲1.1
その他	9.6	36.6	9.0	▲0.8	▲13.8	▲15.4	10.6	▲1.7
科学光学機器	9.1	6.1	18.3	2.7	▲10.7	▲10.2	2.3	▲0.2

EU向け輸出金額 内訳								
	2019/06	2019/07	2019/08	2019/09	2019/10	2019/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲6.7	2.2	▲1.3	▲0.5	▲8.4	▲7.5	100.0	▲7.5
食料品	34.4	6.3	8.9	23.9	▲13.6	▲11.3	0.4	▲0.0
原料品	▲9.2	▲11.0	0.2	▲14.2	▲7.3	▲9.1	1.0	▲0.1
鉱物性燃料	▲47.7	20.7	▲31.6	12.1	▲52.8	43.3	0.6	0.2
化学製品	2.6	▲10.4	▲3.8	5.8	0.2	▲5.6	9.3	▲0.5
原料別製品	▲6.7	▲15.7	▲5.2	▲6.0	▲14.6	▲12.9	5.8	▲0.8
鉄鋼	▲18.4	▲30.0	10.7	4.2	▲29.7	▲6.7	0.7	▲0.0
非鉄金属	6.0	▲31.9	▲13.6	▲9.5	▲10.9	▲18.8	0.7	▲0.2
金属製品	3.2	▲2.6	3.7	▲5.8	▲8.1	▲14.8	1.4	▲0.2
一般機械	▲9.5	▲7.9	▲12.4	▲15.1	▲20.3	▲19.8	20.2	▲4.6
電気機器	▲10.9	▲8.8	▲6.7	▲7.6	▲14.5	▲11.0	17.2	▲2.0
半導体等電子部品	▲14.3	▲14.5	▲14.7	▲11.4	▲14.0	▲7.7	2.0	▲0.2
I C	▲23.6	▲25.3	▲28.3	▲17.6	▲19.0	▲12.5	0.9	▲0.1
映像機器	▲31.7	▲15.0	▲10.6	▲10.3	▲12.0			
映像記録・再生機器	▲29.6	▲17.3	1.0	▲17.9	▲12.1	▲34.6	0.7	▲0.4
音響・映像機器の部分品	3.7	3.9	1.0	34.3	6.8	25.6	0.2	0.0
電気回路等の機器	▲17.4	▲15.4	▲14.5	▲15.7	▲26.4	▲19.7	1.5	▲0.3
輸送用機器	▲12.2	34.6	0.9	21.3	5.8	9.2	28.8	2.2
自動車	21.0	50.4	10.3	41.5	12.8	11.7	18.2	1.8
自動車の部分品	▲2.4	2.2	▲2.6	▲4.9	▲5.2	16.9	6.6	0.9
その他	9.4	▲0.5	23.5	▲2.0	▲5.0	▲10.8	16.7	▲1.9
科学光学機器	2.7	▲0.7	7.0	▲4.1	▲15.2	▲9.2	3.5	▲0.3

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2019/06	2019/07	2019/08	2019/09	2019/10	2019/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲8.2	▲8.3	▲10.9	▲7.8	▲11.2	▲5.7	100.0	▲5.7
食料品	6.1	3.2	▲3.2	▲8.4	▲6.1	2.0	1.5	0.0
原料品	▲13.3	▲17.4	▲12.4	▲15.0	▲19.3	▲20.7	1.7	▲0.4
鉱物性燃料	▲25.0	▲16.3	3.3	▲33.0	▲15.0	11.1	2.0	0.2
化学製品	▲1.3	1.0	▲7.3	▲4.1	▲12.0	▲8.9	14.9	▲1.4
原料別製品	▲10.0	▲9.1	▲13.9	▲7.4	▲15.1	▲13.5	13.1	▲1.9
鉄鋼	▲10.9	▲11.4	▲19.7	▲7.9	▲18.4	▲20.5	5.0	▲1.2
非鉄金属	▲14.5	▲10.4	▲12.0	▲7.3	▲13.6	▲5.5	2.7	▲0.1
金属製品	▲11.6	▲8.6	▲7.1	▲7.4	▲13.2	▲9.6	1.7	▲0.2
一般機械	▲14.5	▲13.8	▲16.8	▲12.9	▲13.0	▲7.0	18.4	▲1.3
電気機器	▲9.5	▲9.2	▲8.0	▲4.1	▲6.4	▲3.9	22.2	▲0.9
半導体等電子部品	▲7.5	▲6.8	▲1.6	5.9	1.7	1.0	9.1	0.1
I C	▲7.3	▲6.2	1.0	11.2	4.9	▲0.4	6.6	▲0.0
映像機器	▲26.1	▲23.8	▲25.6	▲22.2	▲12.3			
映像記録・再生機器	▲32.8	▲22.6	▲20.9	▲17.1	▲6.5	▲15.1	0.3	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲3.5	▲10.7	▲18.0	▲19.0	▲18.4	▲14.9	0.4	▲0.1
電気回路等の機器	▲13.1	▲11.9	▲16.2	▲13.1	▲13.1	▲10.1	3.4	▲0.4
輸送用機器	1.5	▲8.5	▲13.1	▲3.9	▲15.0	▲4.8	10.0	▲0.5
自動車	11.9	5.7	▲12.9	1.0	▲15.9	▲1.0	4.9	▲0.0
自動車の部分品	▲21.1	▲21.5	▲16.8	▲22.1	▲16.1	▲11.7	3.8	▲0.5
その他	▲7.6	▲6.2	▲8.6	▲8.5	▲7.8	3.1	16.2	0.5
科学光学機器	▲10.4	▲12.0	▲14.1	▲14.3	▲9.8	▲0.6	3.6	▲0.0

中国向け輸出金額 内訳								
	2019/06	2019/07	2019/08	2019/09	2019/10	2019/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲10.1	▲9.3	▲12.1	▲6.7	▲10.3	▲5.4	100.0	▲5.4
食料品	24.8	42.3	41.5	28.0	16.7	27.6	0.8	0.2
原料品	▲28.1	▲52.9	▲43.5	▲45.3	▲52.4	▲57.8	1.3	▲1.7
鉱物性燃料	32.2	20.4	4.4	▲46.7	10.2	▲49.4	0.8	▲0.8
化学製品	▲3.5	5.7	▲5.7	4.3	▲6.6	▲4.5	17.0	▲0.8
原料別製品	▲18.2	▲4.5	▲11.6	▲4.5	▲8.1	▲2.7	11.4	▲0.3
鉄鋼	▲17.7	▲4.0	▲15.6	▲9.9	▲17.6	▲13.3	3.4	▲0.5
非鉄金属	▲30.0	▲1.8	▲10.7	10.9	9.4	22.2	2.8	0.5
金属製品	▲13.1	▲4.0	▲7.5	▲3.5	▲6.2	▲0.6	1.8	▲0.0
一般機械	▲17.8	▲17.8	▲20.2	▲18.0	▲13.3	▲6.2	22.0	▲1.4
電気機器	▲14.2	▲14.1	▲10.1	▲2.3	▲9.6	▲6.5	21.2	▲1.4
半導体等電子部品	▲21.3	▲19.0	▲4.6	19.3	▲11.2	▲10.0	6.7	▲0.7
I C	▲24.0	▲23.7	▲2.6	27.9	▲13.6	▲17.2	4.7	▲0.9
映像機器	▲29.4	▲26.9	▲24.7	▲22.4	▲16.5			
映像記録・再生機器	▲40.3	▲25.9	▲13.7	▲14.2	▲4.2	▲5.8	0.5	▲0.0
音響・映像機器の部分品	4.9	▲7.2	▲6.7	2.6	▲10.6	▲5.9	0.5	▲0.0
電気回路等の機器	▲18.3	▲14.2	▲20.8	▲10.3	▲14.5	▲12.2	3.5	▲0.5
輸送用機器	5.5	▲4.8	▲15.3	▲10.7	▲14.4	5.4	11.7	0.6
自動車	78.7	31.4	▲0.1	16.4	▲7.4	34.4	6.2	1.5
自動車の部分品	▲30.5	▲35.0	▲27.9	▲31.6	▲21.1	▲16.4	5.2	▲1.0
その他	2.6	▲6.1	▲4.6	4.4	▲4.8	0.9	13.8	0.1
科学光学機器	▲4.6	▲8.7	▲17.9	▲10.6	▲12.6	▲0.4	5.1	▲0.0

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成